

社団法人調布青年会議所 2011 あすの調布

4月号

11年度 社団法人調布青年会議所

第41代 理事

原 島



がんばろう

NIPPON

確かな一歩を踏み出そう



Junior Chamber International Japan

例会報告

1月例会

2011年度新春地域懇談会にお越しく
 ございましたみなさま、どうもありがと
 ございました。みなさまのご協力により滞
 りなく式典および懇談会を終了させていた
 だくことができました。式典は厳かな雰囲気
 で懇談会は楽しく華
 やかに、とコントラス
 トを意識して設置して
 みました。「絆」と
 「ぬくもり」をテーマ
 に「デイキンランドジャ
 ズのバンド演奏なども
 取り入れ、明るい一年
 の幕開けを願って開催
 した懇談会ですが、3月11日に発生した
 東日本大震災により私たちは厳しい現実と
 向き合うこととなりました。



今後は被害を受けた方々の心の痛みに寄り
 添いながら、被災地復興はもとより、日本
 の再生にむけて一丸となつて取り組んでい
 なくてはなりません。
 すでに取り組まれている被災地支援、被災
 者サポートを通して日頃からの人のつなが
 り、地域のつながりの大切さをあらためて
 感じているところです。

青年会議所の事業が地域を耕し人のつなが
 りを育む場となるよう、これからも創意工
 夫していきたいと思えます。

公益移行準備委員会

委員長 嵐 祐子

2月例会

第43回通常総会

2月22日火曜日、調布市文化会館たづ
 くり8階映像シアターにて2月例会第43
 回通常総会を開催いたしました。お忙しい
 中ご参加頂きま
 した原島敬之シ
 ニアクラブ会長
 をはじめ、シニ
 アクラブ事務局
 の皆様、ご出席
 頂きました現役会員の皆様本当にありがと
 うございました。



総会では2010年度の事業ならびに決
 算の報告を含む四議案が無事可決されまし
 た。総会後の時間では公益法人制度改革に
 ついて嵐委員長より、本年度の拡大につい
 て高橋委員長より素晴らしいお話が聞けま
 した。ありがとうございました。

初めての担当例会ということもあり、私
 を含め委員会メンバー一同緊張していたと
 思います。

藤生議長、総務青赤委員会のメンバー、ご
 参加いただいた皆様にご感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

総務青赤委員会

委員長 山田啓二郎



4月例会

去る4月16日、「ゼン☆
 ホリのそこまで言って委
 く員会!？」を開催しま
 した。例会では『調布JC
 は事務局を廃止すべきであ
 る』という論議に対して参
 加者全員でディベートを行っ
 ていただきましたが、その
 趣旨として...



①:ディベートという手法を知っていたく事。
 ②:ディベートで出た「肯定」「否定」の意見を
 統括し、より良い意見・提案を出す会議手法の体
 験をしていただく事。
 ③:調布JCメンバーとして『事務局移転』につ
 いて興味を持っていただく事。

非常に面白い内容な
 ので、参加者楽しんでいただけるとの心配でした
 が、講師の松本教授(立教大学教授)の講義もウィツ
 トに富んでおり、ディベート中も緊張感と笑いが
 溢れており、楽しくディベートについて学んでい
 たいたのでは、と感じております。

個人的には教授の「経営者は一人ディベートがで
 きなくてはいけない」という言葉に感銘を受けま
 した。会社の方針を変えるなどの際に、リスク回
 避などを検討する上で、非常に優れた手法なので
 はないでしょうか。委員会メンバーとしては、今
 後もディベートという手法や、冷静に相手と論議
 ができる文化が根付いていただければ、嬉しく思
 います。

土曜日の夕方から長時
 間にわたる例会にもか
 かわらず、ご参加いた
 だいた皆様、ありがと
 うございました。

和☆指導力委員会

菅寛人



わんぱく相撲 に向けて

来る!平成23年5月15日(日)に調
 布市立第一小学校校庭にて、
 「第25回わんぱく相撲調布場所」
 を開催いたします。

今年のテーマは、「あくなき挑戦!そして
 感謝!ストーリーはそこから生まれる。」
 と設定し、一度負けてしまっても再度チャ
 レンジできるよう敗者復活戦を催し、自分
 の頑張り次第で再度優勝に向けた挑戦がで
 きる設えを致します。

そして参加して頂くお子さんや親御様に
 対戦相手への感謝気持ち、思いやる気持ち
 を持つて頂き、感謝をして頂ける事。核家
 族化している現代、地域で子どもを育むこ
 との大切さ改めて感じて頂けるよう、近隣
 の地域の皆様のご協力を賜りながら運営し
 て行きたいとおもっております。前記の事
 柄を成し遂げれば、きっと何かしらの新し
 いストーリーが生まると信じて開催に向け
 た準備を進めております。

全ての事業もそうですが、この事業も調
 布青年会議所メンバーのお力添え無くして
 は成り立ちません。お忙しいとは存じてお
 りますが、前日・当日の参加ご協力のほど
 宜しくお願い致します。

調布青年会議所メンバー集合場所時間

前日・事務局 午前9時集合

当日・調布市立第一小学校 午前6時集合

第25回わんぱく相撲調布場所実行委員会

委員長 榎本陽介

東京ブロック

東京ブロック協議会報告 榎原長介

3月11日に発生した東北関東大震災の発生を受け、東京ブロック協議会も青山会長を中心に災害対策会議を幾度も開催し、非常に早い(4日後)段階で支援物資の集積・中継をし、各地会員会議所の迅速且つ多大なるご支援のもとに東北地方の被災地へその志を送ることができた。第一段階の支援として、各地において義捐金・支援物資の活動が日増しに盛んになり、その各地での詳細な活動内容を東京ブロック協議会も情報収集する事ができた。2010年に日本青年会議所内47ブロック協議会と各地会員会議所によって締結された災害相互協定が絵に描いた餅ならず、実体の伴う行動として機能できた事は非常に大きな事ではないだろうか?東京ブロック協議会が統括する支援物資の活動については、4月3日の搬送を最終にその後は各地会員会議所の判断とルートにお任せすることを決定し、次のフェーズに向けた支援活動の模索を現地被災地との情報により行った。この東京ブロック協議会の担当地域として、

福島ブロックという事が決定し、現地での支援活動にはもう少しの猶予が必要との判断から「風評被害」に見舞われている農産物の販売とキャンペーンに力を入れる事が決定し、4月24日に立川と八王子で、4月30日には調布のイベント会場において福島ブロック協議会と福島の各地会員会議所のメンバーの参加を得て販売とPR活動を行う事ができた。

災害の発生からその支援の在り方を検討することと並行して議論されたのが「東京ブロック協議会 第40回会員大会 八王子大会」についてでありました。中止をするか、延期をするべきか・・・?

そして、当初の予定通り6月12日(日)に開催するべきであるのか?あらゆる角度から正副会長と役員との議論を経て当初の予定通りの日程で開催する事となった。いずれの理由を選択するにしてもその理由や目的が大切であります。ちょうど震災のあった3月11日から3カ月を迎える時期に、継続的な支援を呼び掛けPR効果の望めるチャリティ事業や防災、そして、復興に向けて元気を出すために開催する事を方針とし、八王子の地でメンバーが一堂に集おうと決定したのが3月24日でした。

本来であれば、3月中旬に会員大会関連議案の協議を経て、4月中には審議可決するというスケジュールでしたが、3月一杯は災害対策と会員大会の方向性についての議論で終始し、具体的議案をもとに議論で済むのが4月のみという状況・・・私が担当する首都東京未来創造委員会は、大会のメインフォーラムを担当する事となりました。しかし、当初の企画は振り出しに戻し、「災害に強い都市 首都東京」の実現に向けた災害関連のフォーラムを開催することで決定され、3週間という短期間でゼロから企画を練り直す事となった。非常に魅力的な講師・パネリストを計4名お迎えし、

『東京ブロック防災フォーラム ～首都東京セーフティネットワーク構想』

と銘打ちメインフォーラムをお開催します。会員大会は、本年度調布青年会議所の6月第1例会という位置づけであります。原島理事長を筆頭に、多くのメンバーにご参加いただくことを望みます。今大会は記念すべき40回目の節目の大会であり、会員大会運営委員会の副委員長としては小川陽一君が出席し、委員としても多くのメンバーが出席しております。そして、何よりも、委員会メンバーと委員長・副委員長と「俺が」苦勞して作り上げたメインフォーラムを是非見に来ていただきたい!!いや、絶対来てください!!

ALJ東京確立委員会

副委員長 加藤日恵

本年度、公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 東京ブロック協議会「ALJ東京確立委員会」に副委員長として出向させて頂いています。

和田副理事長・柴田副委員長・畑野会計幹事の三人も一緒に出向してもらっています。委員会メンバーには、東京JICの各地区委員長経験者が多いので、色々な話を聞けて楽しく勉強させて頂いています。

私達の委員会は、通年で各LOMへの災害支援・東京ブロック新年決起集会・交流事業・さよならブロックを担当します。委員長は二人いるので、もう一人の副委員長が災害支援、私は式典を担当することになりました。

新年決起集会では、実行委員長という大役を務めさせて頂きましたが、準備期間が一ヶ月もない状況だった為、人見委員長にほとんど任せて頂きました。昨年は松永専務が司会をやったと聞いたので、是非今年も調布のメンバーに!と思いき、畑野君に司会をお願いしました。受けてくれてありがとうございます!最高の司会でした!!

式典は毎年やる事は決まっていますが、さよならブロックでは青山会長の希望も取り入れ、委員会メンバーみんなで昨年とは違う工夫をしたいと思っています。しっかりと仕切れるように頑張りますので、10月24日のさよならブロックに皆さん是非参加して下さい!お待ちしております!!



東北関東大震災 災害支援 第一話

直前理事長 渡邊弘樹

2011年3月11日(金)に大地震が発生し、その後の大津波で東北関東地方の太平洋側が大打撃を受けました。(社)日本青年会議所は、昨年度構築した震災支援ネットワークを行政より早く発令し全国の青年会議所が動き出しました。そして3月19日(土)、江東区にある東京ブロック協議会の備蓄倉庫で物資の仕分けをしている最中に(社)東京青年会議所の奥山理事長に今から私と仙台に行きましようと言われ、仙台の青葉区にある青年会議所の東北の基地に急遽、炊き出し用のプロパンガスを50本と、買えるだけのガソリンや物資を持って届けに行きました。そこで、会った東北地区協議会会長や宮城ブロック協議会会長の皆様は、震災後着のみ着のまま不眠不休の状態避難所に物資を届けたりしている現状を聞いて言葉を失いました。家も流され会社も流された本人たちが、家族を他に移動し現地でも必死に戦っていたのです。仙台青年会議所の理事長にその時にお聞きしたのが、震災直後、食べ物が無い状況で市が備蓄している備蓄米を各地の避難所に出して欲しいと要望を出した所、「この備蓄米は市内の避難所だけで配布をするのであればいいのですが、隣の町などには出さないで欲しい」と返答が帰ってきたとの事でした。多くの備蓄物資や救援物資を持っている行政は、配る手配も出来ずじまま、行政の建前だけの動きだけをしていて、現地で物資も足りない日々が続いていると震災後8日目の現状を伝えてくれました。他にもガソリン問題も現地ではありました。国がガソリンを被災地優先にしていると言う話をしていたと思いますが、現状は東北でも高く買ってくるスタンスに卸していた為、被災地にガソリンが不足し物資の移動も困難になってきているとの事でした。国はタンクローリーの確保だけし、その後は全て業者に任せられた為に本当に欲しいところにガソリンが無く、新潟や仙台よりも山形などに多くガソリンが回っているとお聞きし、憤りを感じました。調布市でも震災後の動きはほとんど無く、我々の要望に添えている現状があるのかと思います。今だからこそ我々に出るのかと思います。今だから復活を国民で力を合わせて目指す大切さをメンバーと共に共有出来る様にしていきたく思います。※続きは次号にて

新入会員アンケート

本年度入会の新入会員さんをアンケート形式でご紹介させて頂きます。

質問アンケート内容

- 1氏名 2職業・会社名(仕事内容含む) 3年齢 4趣味(3つ) 5あだ名
- 6好きな言葉 7JCに入った経緯 8今後JCでやりたいこと・やってみたい事

今回は3名の方に協力頂きました。

- 1、境屋奈央子
- 2、飲食店勤務



- 3、Asian Taipei アジアンレストラン
- 4、①サックス

- 5、ナオちゃん/パイヤ
- 6、御用改である。
- 7、お誘い頂きました。



- 8、人それぞれの考え方、経験、趣味などを聞いたり学んだりして、自分を成長できるよう、多くの方と交流を持ちたいです。



- 1、蓮井 一仁
- 2、ライフ&フューネラルコンサルティング

会社名 SOGIサポートセンター
Lin MC Group(株)

・生と死・葬送をテーマに事業運営。

ライフ・セクションでは、生前からのフルサポート。フューネラルセクションでは、お別れのスペシャリストとして事前相談からお迎え・セレモニー・散骨・遺骨(遺品)の対応。葬送全般を含む1都4県の葬送を自社施行

3、25歳

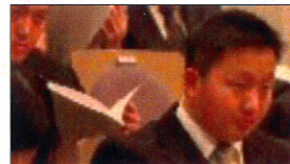
- 4、①旅行
- ②映画鑑賞

- ③ショッピング

- 5、はすいちゃん

- 6、不可能を可能にする

- 7、JCのOBである二



ビック門馬社長、城山産業の原島社長に接しその人柄に感銘を受け理事長経験者の山口酒店の山口社長と会話の際、JCでは一生懸命努力する人が多く普段の生活だけでは知り得ない方とも話せるチャンスがある場だから入会し活動をする中で自分自身の勉強とネットワークを構築すると良いというアドバイスを頂き入会に至りました。地域の方々に喜ばれる・役立つことに興味があります。



- 1、高谷 夕輝
- 2、天然酵母パン屋



会社名 SOLALA

- 3、34歳
- 4、特になし
- 5、特になし



- 6、チャンスは動いて待て
- 7、ウイスターの加藤雄一さんの紹介
- 8、調布市民が盛り上がるイベント等

皆様ご協力ありがとうございました。次回は今回掲載できなかったメンバーの紹介をさせて頂きます。

俺たちの青赤 FC東京 J1への道

震災を受け中断していたJリーグも再開。圧倒的な戦力を保持し昇格候補筆頭ながらも怪我人に悩まされ、チームの中心であったFW、ボランチが離脱。再開後もいまだ勝利は無い。しかし、まだ3試合。今後の戦いに期待。

第3節終了時
順位13位 勝点4
1勝1敗1分 得点1 失点3
J1昇格期待度 80

編集後記

3月に発行いたしました「あすの調布臨時号」に引き続き4月号は発行させて頂きました。当初計画していた内容を大きく変更し、更に短い期間ではありましたが、無事発行に至りました。原稿にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。次号では様々な取材を行いより魅力的な内容でお送りしたいと思います。

4月20日に原島理事長、高橋委員長、山口運営幹事と4名で、仙台へ自転車13台、給水ポリ袋5000セットをトラック2台で届けてまいりました。「津波の影響は大きくない方です」と説明を受けましたが、塩釜港近辺はいまだ爪跡が残る言葉を失ってしまう様な状況でした。少しでもお役に立てる事ができてよかったと思っております。「微力ではあつても無力ではない」ひとりひとりが出来ること、小さなことからでも行っていくようにしましょう。

最後までお読み頂きありがとうございます。委員長 山田啓二朗



あすの調布 2011年度4月号
〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1の5の9

社団法人調布青年会議所

編集 総務青赤委員会